

日本赤十字社鳥取県支部現勢

一人間を救うのは、人間だ。－

◎赤十字の基本原則・人道・公平・中立・独立・奉仕・单一・世界性 ◎ジュネーブ四条約締結国 196 カ国
◎国際赤十字・赤新月社連盟加盟国 192 カ国 (赤十字社 157、赤新月社 34、イエスル・ダビデの赤盾社 1)

1 沿革	明治 21 年(1888) 1 月 11 日鳥取県委員部設立 明治 28 年(1895) 4 月 17 日鳥取支部に改称 昭和 27 年(1952) 10 月 31 日鳥取県支部に改称						
2 会員	2,573 人・法人 (協力会員を除く) (R4.3 月末現在)						
3 評議員	20 人						
4 代議員	2 人 尾田一壽、児嶋洋悟 理 事 1 人 尾田一壽						
5 役員	(R4.4.1 現在) <table border="1"><tr><td>支部長</td><td>副支部長</td><td>監査委員 (2 人)</td></tr><tr><td>平井 伸治</td><td>中西 眞治</td><td>竹尾 雅詮、古町 悟</td></tr></table>	支部長	副支部長	監査委員 (2 人)	平井 伸治	中西 眞治	竹尾 雅詮、古町 悟
支部長	副支部長	監査委員 (2 人)					
平井 伸治	中西 眞治	竹尾 雅詮、古町 悟					

6 鳥取県支部	(R4.4.1 現在)
区分	人員等
職員数	8 人
予算額	100,241 千円 令和 4 年度
通信指令車	1 台
災害救援車	3 台

7 災害等救護	(R4.3.1 現在)
救護班 5 個班	
(要員: 医師、薬剤師、看護師、主事 34 人)	
(血液供給要員 3 人)	
無線局 157.73MHz (けつせきとつとり)	17 局
〃 415.2625MHz (せきじゅうじとつとり)	23 局
救護車両	4 台
災害等救護出動	0 回
国内義援金額 (R3 年度)	1,244,988 円
配布救護物資 (R3 年度) (小災害) 17 世帯 29 名 (内訳: 毛布 25、緊急セット 21、タオルセット 6、タオルケット 10、鍋 2 安眠セット 10)	

8 国際活動	(R4.3.1 現在)
区分	金額
アジア・大洋州 給水衛生キット支援事業	536,858 円
海外救援金	3,025,900 円
NHK海外たすけあい	2,499,048 円

9 青少年赤十字	(R4.3.1 現在)
区分	加盟校数 加盟人数
幼稚園・保育園	2 園 117 人
小学校	7 校 2,320 人
中学校	4 校 808 人
高等学校	9 校 715 人
計	22 校 3,960 人

10 赤十字奉仕団	(R4.3.1 現在)	
区分	団数	団員数
地域	38 団	1,511 人
青年	3 団	124 人
特殊	14 団	365 人
計	55 団	2,000 人

11 講習普及活動 (R4.3.1 現在)

区分	登録者数	
救急法	指導員 103 人	救急員 567 人 基礎修了 1,079 人
水上安全法	指導員 26 人	救助員(プール) 61 人 (海) 34 人
健生活支援講習	指導員 30 人	支援員 38 人
幼児安全法	指導員 43 人	支援員 9 人

12 医療事業 (鳥取赤十字病院) (R4.4.1 現在)

区分	人員等	備考
職員数	674 人	
ベッド数	350 床	
予算額	8,733,254 千円	令和 4 年度
入院患者数	100,268 人	令和 3 年度
外来患者数	126,051 人	

13 血液事業 (鳥取県赤十字血液センター)

(R4.4.1 現在)

区分	人員等	備考
職員数	64 人	献血推進員 3 名含
移動採血車	2 台	
血液運搬車	5 台	
予算額	638,360 千円	令和 4 年度
成分献血	7,250 人	令和 3 年度
200ml 献血	55 人	
400ml 献血	14,594 人	
献血者数計	21,899 人	

14 施設・職員 (R4.4.1 現在)

区分	職員数	備考
県支部	8 人	
病院	674 人	
血液センター	64 人	献血推進員 3 名含
計	746 人	

15 会計

(令和 4 年度)

区分	予算額 (千円)	備考
県支部	100,241	一般会計
病院	8,733,254	医療施設特別会計
血液センター	638,360	血液事業特別会計
計	9,471,855	